

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立比々多小学校
-----	-------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉えることができている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができている。 ・図表などを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして文章の構成を考えること。 ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけること。 ・漢字を文の中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる二つの数量の関数に着目し必要な数量を見出すことができている。 ・角の大きさについて辺の開き具合として捉えることができている。 ・棒グラフから項目間の関係を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異分母の分数の加法の計算をすること。 ・数直線上で1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。 ・平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・変える条件や変えない条件を整理しながら実験の方法を考えることができる。 ・獲得した知識を基に科学的な根拠のある予想をし、問題を解決することができる。 ・電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの金属について電気を通す、磁石に引き付けられるなどのそれぞれの性質について理解すること。 ・乾電池で、直列のつなぎ方やその特徴について理解すること。 ・氷が解けてできた水が海に流れていくことの根拠について理科で学習したことと関連付けて考えること。
質問調査	<ul style="list-style-type: none"> ・生活のリズムが整い、先生や周りの大人に困りごとや不安なことをいつでも相談できると思っている児童が多い。 ・日々の生活の中で幸せを感じ、将来の夢や目標をもち、人の役に立つ人間になりたいと思っている児童が多い。 ・PCを使った授業を取り入れて、その扱いに慣れてきている児童が多く、有用性も感じている。 ・算数、理科の勉強は好きで、学習したことを生活の中で生かそうとしている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は良いところを認めてくれているが、自分の良いところを認めている児童はやや少ないこと。 ・学校が楽しくないと感じている児童がいること。 ・学校の授業時間以外や休日に学習をしている児童が少ないこと。また、授業時間以外に読書をしている児童が少ないこと。 ・地域の大人に授業やスポーツ、体験活動などで関わってもらったり、遊んでもらったりしている児童が少ないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該学年の前に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使おうとする習慣を身に付けていく。 ・複数の資料を読む活動を通して、それぞれの資料がどのような関係にあるのか考えながら読んでいく。また、重要な語句や情報を丸で囲んだり、線でつないだりして視覚的に明らかにしながら読む指導を行っていく。 <p>【算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4年生の頃より教科担任制を取り入れ、系統性をもった学習の組み立てや児童が興味をもつような指導の工夫をしてきた。「算数が好き」と答えている児童の割合が高く、その成果が表れていると思う。今後も教科担任制の良さを活かし、「楽しく学べてみんながわかる」ことを意識した授業づくりをしていく。また、基礎基本の定着を図るような学習も取り入れていく。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで通り、観察や実験を取り入れて「なぜ」「どうして」と考える場面を重視した授業を行っていく。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<p>先生に良いところを認めてもらっていると感じつつも、「自分には良いところがある」と思っている児童の割合が少なく、自分に自信を持つことができない様子が見られます。一方、将来の夢や目標をもっている児童は多くいます。ご家庭では引き続き、毎日の「早寝、早起き、朝ごはん」の生活リズムを保つことを続けていただき、児童の話に耳を傾け、将来の夢や目標を応援していただけたらと思います。また、学校では地域と協働した児童の健全な育成に今まで以上に力を入れていきたいと思っております。「学校は地域の中心」「子どもは地域の宝」として地域の皆様にも引き続き、見守りや学習活動、体験活動へのご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>学習面ではPCやタブレットを使った学習を多く取り入れ、児童も資料を検索したり、プレゼンをしたりとその扱いに慣れてきています。また、委員会やクラブ活動など学習以外で機器を扱う時間も多くなっています。引き続き、情報モラル等の指導もご家庭と協力して行っていきたいと思っております。反面、読書離れが進んでいるのも心配です。ご家庭でもお声かけをお願いします。</p> <p>児童は理科の実験や観察などが大好きなようです。他教科でも児童の興味、関心を取り入れた体験活動を取り入れながら、さらに「楽しい授業・楽しい学校」を目指して日々、取り組んでいきたいと思っております。</p>
